

青森県春季高校野球 きょう準決勝

東北切符懸け激突

春季青森県高校野球選手権は26日、八戸市長根球場で準決勝を行う。4強に名乗りを上げた青森、弘前東、八学光星、弘前工が、東北大会(青森市・6月7～11日)の出場3枠を懸けて激突する。

ノースードから勝ち上がった青森は、主軸の清野慎

ら上り調子の打線に加え、投げては1年豊指善直が活躍。3試合で14盗塁の機動力も合わせ持つ。

昨秋の県大会準優勝の弘前東は打率が4割を超え、4チーム中トップ。2試合で7打数3安打3打点と波に乗り、松庭佑希也を中心に、打線に隙がない。

八学光星は安定した攻守が武器。長打は少ないものの、打線をつなげて効率よく得点を重ねてきた。主戦

の福山優希は、青森山田を相手に最少失点に抑える力投を見せた。

弘前工は、3試合で本塁打2本の木村仁をはじめ、強力打線が特徴。準々決勝の大湊戦では、九回の土壇場で、盛恵大が逆転2点本塁打を放つ勝負強さも見せた。

八学光星は24日、八戸市

準決勝進出校のチーム成績

チーム	試合数	打数	安打	打率	長打			得点	打点	犠打	盗塁	失策	失点
					本	三	二						
青森	3	110	42	.382	0	2	6	27	22	12	14	6	15
弘前東	2	61	25	.410	0	4	2	15	15	2	1	2	1
八学光星	2	60	21	.350	0	0	4	14	12	5	0	1	1
弘前工	3	84	29	.345	3	1	5	22	19	13	3	5	10



守備練習に励む八学光星ティーン24日、八戸市

きょうの試合

▽準決勝

【長短】
青森 弘前東(10:00)
八学光星 弘前工(12:30)

試合速報



の同校グラウンドで守備練習や試合形式の練習を行った。準決勝を見据え、長南佳洋主将は「勝つことだけを考えている。夏の前哨戦として、隙のない戦いをしたい」と気合十分だった。

(里村静)